



板野町の小学校のエアコン

# 6月本会議で要望・・・「徳島市小・中学校の すべての教室にエアコンの設置を」

六月本会議では「新町西再開発」「鉄道高架」などの問題とともに、「小中学校のすべての教室にエアコン設置を」について採り上げ、実現を強く求めました。この問題を探り上げる際、他の自治体のエアコン設置状況や、徳島市の「エアコンの無い現実」等を調査 本会議で紹介し、実現を求めたんですが、その「議会で紹介したナカミ」を掲載しておきます。

## 徳島市周辺の自治体では すべての教室にエアコン設置

石井町、松茂町、佐那河内村、板野町、北島町、徳島市周辺の自治体では、小・中学校すべての教室にエアコンが設置されています。



## 徳島市内の県立中学校と 全高校にもエアコン設置

また、父母負担で設置しているという問題はありますが、徳島市内の県立中学校（城ノ内）、すべての県立



## 四国の三市も設置 あるいは設置の方向

高松市では、小・中学校のすべての教室にエアコンが設置され、高知市では、平成二十一年度以降新築した校舎にはエアコンが設置されています。松山市では、「設置要望が強く、先進地を視察し検討中」とのことでした。



## 徳島新聞が「県下のエアコン 設置が三倍化」記事を掲載

徳島新聞は「近年の猛暑の影響を受け、小・中学校にエアコンを整備する自治体が、徳島県で増えている。児童生徒の健康に配慮し、学習に集



中できる環境を整えるのがねらい」と、県下の小・中学校のエアコン設置が、五年前の三倍に増えている特集記事を掲載しています。

## 石井町の中学校で生徒会の 会長さん等が喜びの声

昨年度に、すべての教室へのエアコン設置が完了した石井町では、中学校の校長先生の計らいで、生徒会の会長さんや副会長さんから「喜びの声」を伺うことができました。その声を本会議で紹介しました。



「僕の小学生時代はエアコンがなかったため、暑さで集中力が切れて困りました」「小学校時代は扇風機だったので、風のあたるところはよかったが、中学校はエアコンになったので授業に集中できます」「学校はストーブだったので、ストーブの周りだけは暖かいが、中学校はエアコンなので、みんなが暖かい」など。

## エアコンのスイッチは 夏は二十八度以上、冬は十度以下で

板野町と高松市では、夏は二十八

度以上、冬は十度以下になるとエアコンのスイッチを入れ、石井町では、夏は二十六度、冬は十八度、



二十度にエアコンの温度を設定し、いずれも先生方の判断で行っていました。すべての教室にエアコンを設置している自治体では、安心・安全な環境の中で、子どもたちは学校生活をおくっていました。

### 「普通教室へのエアコン設置を認めない」

## 原市政の「異常」を質し、設置求める

六月議会本会議では、他の自治体が、ほとんどエアコンを設置しているのに、「普通教室へのエアコン設置は認めない」という態度を貫いている原徳島市政が如何に「異常」であるかを質し、「すべての教室へのエアコン設置」を強く求めました。本会議で採り上げたナカミを紹介します。

### 「エアコン設置しないのは暑さに負けない体力づくり」と

過去の本会議で、「なぜエアコンの設置を認めないのか」という他議員の質問に対し、「エアコンを設置しないのは園児、児童、生徒が暑さに負けない体力づくりをするため」と、精神訓話のような答弁を行ってきたのが原市政です。



### PTAの寄付で設置した

## 小学校のエアコンを撤去

新町小学校では、PTAの寄付で

教室にエアコンが設置されましたが、「普通教室への設置は認められない」と、わざわざ撤去させ、普通教室以外に移設させました。



### 熱中症で相次ぐ

## 救急車での病院搬送

こんな「異常」な状態の中で、徳島市内の小・中学校では、熱中症で倒れる事態が毎年のように起こっています。平成二十二年十件、二十三年五件、二十五年五件、救急車で病院に搬送されています。

### 「エアコン設置の

## 検討が必要」と答弁

私の本会議の質問・追及を通して、市長が「エアコン設置の検討が必要」と答弁。新町小学校でエアコンを撤去させるなど、「異常」な事態を作り出してきた「悪政」を変えて

いくキツカケに、私の質問がなった、と思っています。

ちなみに「徳島市小・中学校のすべての教室にエアコンを設置する費用」は約二十億円。その内の市負担分は約十三億円（約七億円は国負担）。新町西再開発の十分の一程度（市負担）の金額でしかありません。

原市政の最大の特徴は、県外ゼネコンの仕事づくりであるムダな大型公共事業を推進する一方で、市民の暮らしの予算を削減するところにあります。その具体的な現われが新町西再開発・鉄道高架の推進。その一方で、全国一高い国保料を強いる「遅れた防災対策」「エアコンの設置を放置する」等です。

### 新町西再開発・鉄道高架をやめて

## エアコン・国保料引き下げ、防災対策等を

この度の六月議会で質問・追及したのは、「エアコン設置」「新町西再開発」「鉄道高架」「集団的自衛権」でした。その中で、「新町西再開発」「鉄道高架」について触れておきますと

い出すのが新町西再開発。市民の営業権、生活権を奪って建設するホールは、文化の名に値しない」と白紙撤回を求めました。そして「ホールは文化センターを耐震リニューアルして長持ちさせ、積立金を増やし、将来、旧動物園跡地に立派なホール建設を」と、強く求めました。

「鉄道高架」では、「列車本数が少ない牟岐線を、二十年もかけて高架化するムダ使いはやめ、利用者のため、牟岐線の存続に尽力を」と、計画の中止を求めました。新町西再開発（総事業費百六十八億円）は百三十二億円もが市民負担。鉄道高架（総事業費七百五十億円）は百九十億円もが市民負担。こんな莫大な税金のムダ使いはやめ、エアコンの設置、国保料の大幅引き下げ、防災対策の充実等にこそ、予算を使うべきです。